

第16回 プロネクサス 懸賞論文募集

応募締切:2024年10月20日(日)

資本市場の発展に あなたの提案を

日本の企業ディスクロージャー・IRを
より効果的で効率的なものにする研究活動を支援します。

株式会社プロネクサスは、
企業のディスクロージャー・IRにおける実務サポートを
提供する専門企業であることから、
CSR活動の一環として2009年より
「プロネクサス懸賞論文」を開始しました。
本年も引き続き、「第16回プロネクサス懸賞論文」を募集いたします。
学生、若手研究者、社会人等の方々から、
研究レポートやご提案をいただき、
資本市場の健全な発展に寄与していきたいと
考えております。

詳しくは、専用ホームページをご覧ください。
<https://www.pronexus.co.jp/home/souken/info/index.html>

お問合せ・応募はこちらまで
(株)プロネクサス
ディスクロージャー企画業務推進部 調査研究チーム
小林・原口
〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20汐留ビルディング5F
E-mail: souken@pronexus.co.jp

募集要項(概要)

■テーマ

『上場会社のディスクロージャー・IRをより効果的、効率的なものにするための研究および提案』

(備考)1.実証結果を出すための実証分析に関する論文は不可としますが、提案を補強するための実態調査、ケース分析等を論文の一部に含めることは可とします。
2.IRの具体的な表示方法等の工夫を提案することは可とします。

■応募資格

【部門Ⅰ】

個人による研究または2名による共同研究

(応募資格)

40歳以下(2024年10月20日現在)で日本在住の大学生、大学院生、研究者、一般社会人等(共同研究の場合は、2名とも)

【部門Ⅱ】

大学生グループによる共同研究

(応募資格)

同一大学に在籍する大学生(2024年10月20日現在)による3名以上10名以下のグループ(代表者1名を含め10名以下)(例えば、XX大学XXゼミナール、XX大学XX研究会等)

なお、論文・要旨・応募メールには、応募部門(部門Ⅰまたは部門Ⅱ)および執筆者名・共同研究者名を明記すること。

■応募締切

2024年10月20日(日)[当日消印有効]

受賞者名は、2025年1月頃に弊社ホームページにて発表。

■賞金

最優秀賞 50万円

優秀賞 30万円 佳作 10万円

(部門Ⅰ及び部門Ⅱともに上記金額)

■審査方法

下記の審査委員で構成する審査委員会にて審査を行います。

委員長	黒川 行治	慶應義塾大学 名誉教授
委員	新井 武広	前 会計教育研修機構 代表理事専務
委員	川村 義則	早稲田大学商学学術院 教授
委員	小宮山 賢	早稲田大学大学院経営管理研究科 教授
委員	佐藤 明	株式会社バリュークリエイト パートナー
委員	多賀谷 充	青山学院大学大学院 教授
委員	上野 守生	株式会社プロネクサス 取締役会長

(敬称略)

■後援

株式会社日本取引所グループ
株式会社東京証券取引所

第15回プロネクサス懸賞論文審査結果

【部門Ⅰ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 該当なし

佳作 1本

■仁藤 新太(東北学院大学 経営学部 経営学科 3年)
富士原 竜矢(東北学院大学 経営学部 経営学科 3年)
「有価証券報告書における「サステナビリティに関する考え方や取組」の開示実態調査」

チャレンジ賞 1本

■脇 一永(関西医科大学 医学部 1年)
三浦 雅郁(関西医科大学 医学部 6年)
「企業のIRをより効率的にし、個性を際立たせるための提言」

【部門Ⅱ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 1本

■一橋大学 商学部 円谷ゼミナール 3年Bチーム
(佐藤 愛斗、井出上 拓矢、伊東 十萌、金 娜延、横地 遥)
「日本企業におけるジェンダー構造の実態調査と改善提言」

佳作 1本

■一橋大学 商学部 円谷ゼミナール 3年チームA
(樋口 涼太、加藤 藍、宍戸 健人、白川 大智、永嶺 郁蒔、藤井 沙樹、渡邊 吉顕)
「中期経営計画の達成と開示の関連性 一統合報告書を軸として」